

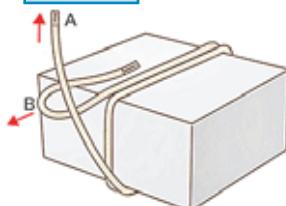
# ロープの結び方2

かます結びはロープの末端同士を結びます。新聞をまとめたり荷物を固定したりするのに便利です。竹垣などの垣根を作る際に用いる基本的な結び方です。

ひもは「シュロ繩」を水で湿らせて使うと作業性が良くきつく締まります。

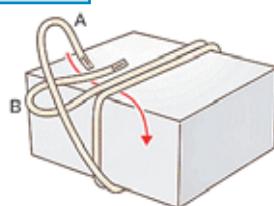
## 1 ロープの両端を結ぶ「かます結び」

手順1



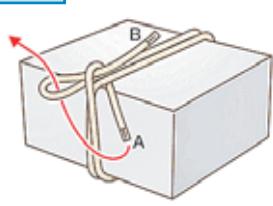
Bの端を折り返してループを作つておきます。この状態から矢印の方向へ引いて締めます。(ここではわかりやすいように箱を縛ります)

手順2



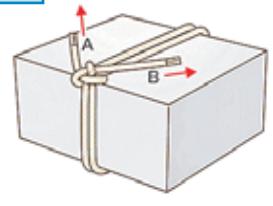
AをBの上からくぐらせて全体をまとめます。

手順3



くぐらせたAの端を、Bのループに通します。

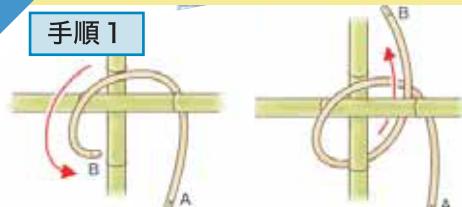
手順4



A、Bのロープそれぞれの端を強く引いて締めます。かます結びは荷物の角の位置で結びましょう。

## 2 棒を十字に結ぶ「いぼ結び」

手順1

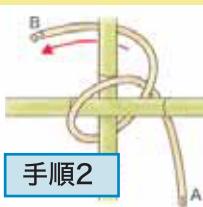


竹垣を例にやってみましょう。

(図のようにロープの両端をA・Bとします)

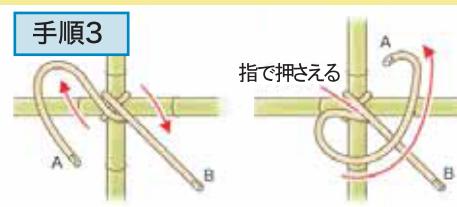
図のように十字の部分にロープを下から上に通し、十字の部分を斜めに回して、Aの内側を通すようにBを上に出します。

手順2



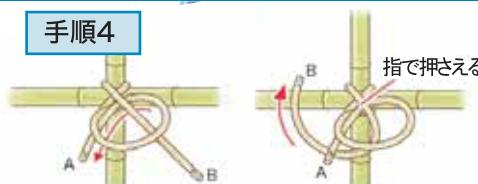
そのままBを縦の竹の裏から左に持ってきて、A・Bの両端を図の方向にしっかりと引っ張ります。

手順3



図のように、十字の部分でA、Bを交差させます。※交差させる時、A、Bの上下に注意! 交差している部分を指で押さえて、AをBにかぶせるように上に持ってきます。

手順4

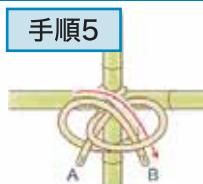


AでBを絡めて、図のようにAの根元の部分の下をくぐらせます。

手順7の部分も含めて交差している部分を指で押さえます。

BをAの下を通して上に持ってきます。

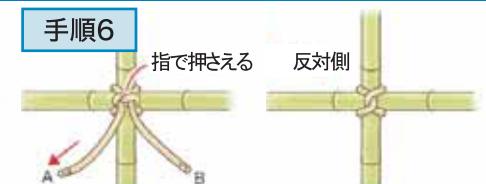
手順5



そのままBを図のようにAの輪に通します。

交差している部分をしっかりと押さえて、Bを強く引っ張ります。

手順6



対側から見ると、こうなっています。竹垣などを十字に結んだ垣根の事を「四つ目垣」といいます。いぼ結びはこの四つ目垣にはなくてはならないものです。難易度が高い結び方ですが、ぜひ挑戦してみて下さい。

### MEMO

#### かます結び

■長所

- 強度が高い
- 解きやすい

■短所

なし

#### いぼ結び

・きっちり結ぶと、美しく見える

・ある程度の熟練が必要

### How to なび

動画でもっとわかりやすく!

暮らしに関するHow to情報を動画で配信中。



### How To 情報

コメリドットコム「How To 情報」には、DIY情報、住まいや暮らしに役立つノウハウが満載です。

